週　報

2016年14号（4月3日～4月9日）

2015年度宣教テーマ

「一人のために」

ルカによる福音書１５章１節～１０節

＜ 巻頭言 ＞

『主は聞き、開かれる方』

創世記21章9節～19節

17節にある「神はあそこにいる子供の泣き声を聞かれた」の「子供」と訳されている原語には「散らされた者」という意味があります。神様は子どもだけではなく、ハガルの泣き声をも聞かれていました。私たちも、どんなに周りの人から非難の目が向けられ、除け者にされたとしても、神様だけは見捨てずにいて下さり、座り込んだその場所で、悩みや嘆きを聞いて下さっています。

19節「神がハガルの目を開かれたので、彼女は水のある井戸を見つけた」とあります。ハガルは、主に目を開かれ、これまで気づいていなかった井戸に気付くことができました。主に力をいただくことによって、これまで目に入っていなかったものが、はっきりと目に入って来るようになります。「どうしよう」と行き詰まりを感じた時、最善の知恵をもって目を開いて下さる主にお頼みしましょう。

私たちは、泣き声を聞かれ、目を開いていただいた者として、出来ることがあります。それは、いただいた水を他の人と分かち合うことです。19節に「彼女は行って、革袋に水を満たし、子どもに飲ませた」とあります。これは「立って行って、あの子を抱き上げ、お前の腕でしっかり抱き締めてやりなさい」という神様の召しに応えてのものでした。

神様は乾きを覚えて苦しんでいる方の下へ、私達を遣わそうとされています。召しに応えて、神様からいただく命の水を分かち合って行きましょう。(川端恵実姉)

教会創立1950年8月7日（教会組織）

日本バプテスト連盟　大分キリスト教会

〒870-0045　大分市城崎町2丁目6番22号

Tel/097-532-4240 Fax/097-529-5240 牧師 村田 悦

Mail:oitabap@violin.ocn.ne.jp

http://blogs.yahoo.co.jp/oita_baptist_church